

連続フォーラム

どなたでも
ご参加ください

子どもの

うちから

? バリアフリー



入場
無料

バリアフリーは子どもから学べる!子どもの姿に目を留め、子どもの声を大切に
する社会ってどんなことなのかを考えるフォーラムを開催します。

第1回

バリアフリー絵本と出会って ~絵本のはなしをしよう~

9月27日(土) 10:00~12:00

会場:戸塚区役所3F 多目的スペース

- もみの木園がバリアフリー絵本としての布の絵本制作に取り組んだ経緯と保育紹介
- 障害のある子どもの読書体験レポート
- 国内外のバリアフリー絵本の紹介/バリアをとりはらう読書のはなし
- 会場に手作りの布絵本、バリアフリー絵本を展示します

おはなし:尾上陽子(もみの木園園長)

第2回

仲間がいる暮らしはバリアフリー ~子どものはなしをしよう~

11月8日(土) 10:00~12:00

会場:戸塚区役所3F 多目的スペース

- パネリストによるトークセッション
- 子どもがつくるバリアフリーな毎日はおもしろさにあふれています。保育事例をもとにパネリスト、会場の皆さんと子どものはなしをしましょう。
- パネリスト:もみの木園創設メンバー/障害があるなしにかかわらず子どもと一緒に育つことを願った保護者/他園保育者/尾上陽子(もみの木園園長)

連続フォーラムへ参加お申し込み・お問合せ <予約制・各回60名>



第1回または第2回のみ、両日参加が選択できます

◀ 参加申し込みフォームはこちら

電話申込/問合せ先(9月以降)

080-2237-5914 (マノ)

主催:NPO法人 こどもの広場もみの木

ほんとうの

バリアフリー、インクルーシブってなんだろう？



もみの木園のはじまりを振り返ると、目の前にいる子どもたちとともに、障害のあるなしで子どもを分けない、共生の場をつくるインクルーシブな保育を実践することは可能でした。もみの木園誕生の時から今も、子ども同士がつながり、お互いを引き受けあってつくる毎日は「一緒にうれしい」が満ち満ちています。それは子ども自身がインクルーシブな社会の担い手になっていく兆しとも思えるほどです。子どもは小さいうちから対等が好きです。小さいうちから人のあり方を知っています。子どもたちの今は、バリアフリーに近いのです。おとなは、そんな子どもたちをつぶさない心構えをしたいです。



おがみ ようこ

講師紹介 | 尾上陽子(もみの木園園長)

幼児期にめぐり会った子どもたちが、障害があるからと別の場所に行かなくてもすむように、誰もが一緒に育っていくことを願って、親と保育者による共同保育の場「もみの木園」を27年前に立ち上げた。その経験から、障害の問題を理解し解決するには、日々の生活を共に過ごすことが最善の方法だと確信している。誰もが社会の中で生きる幸せを分かち合って育っていけるよう、多様性を重んじた共生の場、バリアフリーな豊かな社会を子どもたちとつくっていくこと、また社会の差別化、分断が加速する今だからこそ、子どもと歩むおとなが連携し子どもを取り巻く状況を変えていくことを願って活動している。



連続フォーラム 開催概要 【予約制・入場無料】

第1回 バリアフリー絵本と出会う ~絵本のはなしをしよう~

2025年9月27日(土)

9:30開場 10:00開始~12:00終了

第2回 仲間のいる暮らしはバリアフリー ~子どものはなしをしよう~

2025年11月8日(土)

9:30開場 10:00開始~12:00終了

両日ともに会場:戸塚区総合庁舎3F 多目的スペース(中)

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16番地17

アクセス

JR/横浜市営地下鉄『戸塚駅』西口より徒歩2分
地下2・3階に駐車場がございます。台数に限りがございますので、
公共の交通機関をご利用いただく事をおすすめします。



NPO法人こどもの広場もみの木とは…

1998年4月、6人のお母さんとひとりの保育者が手を取り合って幼稚園をつくり、7人の子どもたちが生活を始めました。障害をもつ子どもたちも一緒でした。”青空保育”を思い描いたお母さんたちは、仲間としてつながった子どもたちの関係を途絶えさせることなく、これからも子どもたちと一緒に育てていこうと願ってもみの木園を誕生させました。7人の子どもたちはいつも「このメンバーでいっしょにできることは？」と考えながらあそびを生み出し毎日をつくっていきました。障害をありのままに受け入れとことんつき合い、お互いを引き受け合って一緒に生きる…そんな子どもたちの関係性、集団のあり方は以来ずっともみの木園の保育の核になっています。

